

きゅうり特報 No,6

2025 年 8 月 1 日
JA 中野市園芸課
JA 中野市きゅうり部会

生育観察及び病害虫発生状況の確認を行い、防除間隔が空かない様に定期散布を実施して下さい。

露地作型

【 8 月上旬 防除 】

散布薬剤	水 100L 当り		月 日 ℓ
	展着剤(ハイクパワー)	10ml	
	ディアナ SC	40ml	
	セイビアーフロアブル 20	100ml	
散布量	300L/10a		
適用病害虫	アザミウマ類、コナジラミ類、ハモグリバエ類、ウリノメイガ 褐斑病、灰色かび病、菌核病		

【 8 月上中旬 防除 】

散布薬剤	水 100L 当り		月 日 ℓ
	展着剤(ハイクパワー)	10ml	
	アルバリン顆粒水溶剤	50g	
	ベルコート水和剤	50g	
散布量	300L/10a		
適用病害虫	アブラムシ類、アザミウマ類、コナジラミ類、カメムシ類、ウリハムシ うどんこ病、褐斑病、炭そ病、灰色かび病		

①7 月気象経過（観測地点：長丘）

平均気温	7/上	7/中	7/下
本年	26.5	26.6	27.2
平年	23.3	24.5	25.5
最低気温	7/上	7/中	7/下
本年	23.2	23.4	24.2
平年	20.0	20.9	21.3
降水量	7/上	7/中	7/下
本年	0.0	10.0	2.5
平年	49.0	36.2	81.1

- 夜温が 25℃を超えると株の養分消耗が激しくなり、成り疲れを助長させます。夕方に通路へのかん水を行い、圃場内の気温を下げましょう。
- まったく降雨がありません。昨年と同様のかん水量では足りません。雨の不足分をプラスしてかん水を実施して下さい。

裏面もご覧下さい

②アーチ上は「孫づる」を伸ばして下さい。

草勢の良い（茎の太い）つるは樹上部に水分をは運ぶポンプを役割を果たします。

基本的には放任で枝が混んできたら摘心して下さい。※1 株で 3～5 本程度確保する。

③「炭そ病」の発生が心配されます。発病が見られる場合は発病葉を除去して「ダイパワー水和剤 1,000 倍」を散布して下さい。※使用回数：5 回以内

④「ウイルス病」の発生が見られます。果実への発病が見られる場合は一度成っている実を全て落とし、追肥を実施して下さい。

樹勢を強くすることで症状が軽減される場合があります。

実施しても回復が見られない場合は株を抜いて下さい。

ハサミで管理すると健全な株にうつるので最後に管理するか、手で抜いて下さい。

ハウス作型

【 8 月上旬 防除 】

散布薬剤	水	100L	月	日
	展着剤(ハテソパワー)	10ml		
	ディアナ SC	40ml		
	ゲッター水和剤	66g		
散布量	300L/10a			
適用病害虫	アザミウマ類、ハモグリバエ類、ウリノメイガ、コナジラミ類 褐斑病、炭そ病、灰色かび病、菌核病			

【 8 月中旬 防除 】

散布薬剤	水	100L	月	日
	展着剤(ハテソパワー)	10ml		
	カネマイトフロアブル	40ml		
	ウララ DF	66g		
	ダコニール 1000	100ml		
散布量	300L/10a			
適用病害虫	アザミウマ類、ハモグリバエ類、ウリノメイガ、コナジラミ類 褐斑病、炭そ病、灰色かび病、菌核病			

①日中気温が高く、換気が必要になります。しかしハウス内が乾燥すると曲がり果が発生しやすくなるので、通路散水などハウス内の湿度を上げるようにして下さい。

②ハダニ類の発生に注意してください。

発生が見られる場合は担当技術員にお問い合わせください。